

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2/23)

文・写真：武田、写真：山國

日時：2020(令和2)年 2月 23日(日) 9:30～15:30

気象：晴れ

活動エリア：44 林班ろ-03

活動内容：林床整備(切倒し間伐木や倒木の整理・棚積み、落枝整理)

参加者：大本孝子、小櫃徹夫、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田寿夫、山國

(上下山支援：斧田一陽)

計6+1

<今日は令和初の天皇誕生日 and 脱輪対向車救出事件>

定例の第三日曜日は雨で当日に順延、皆さん御用繁多で参加は少ないが**意気は盛ん**。低温、風あり、寒さ覚悟で小屋へ。(今日は天皇誕生日、但し、**コロナ対策**で一般参賀は見送り)

活動場所はモニタリング④から谷に下る作業道の左(西)側斜面。東斜面はこれまでで整備済みだが、西側は写真の通り倒木がゴロゴロ散乱。**深い表土(30cm)**、おまけに昨日の雨で滑り易く、ともすれば足場は**崩れ勝ち**→移動には難儀多々。気温は朝 2℃、昼 4℃。昼食は身体が冷える。

活動後の下山時、川久保に降りる**林道分岐の 20m 手前で対向車に遭遇**。狭いので対向車にバックして貰ったところ、途中で山側の側溝に前輪が脱輪。乗っていた若いカップルは目が点に。早速、全員で石を集めタイヤの下に詰め込む。車体を抱え上げようやく路面を回復。分岐まで引き返すことが出来た(**万歳々々**)。すれ違い、カップルには感謝され、**一寸良いことをした気分**。

<今日の成果>

チェーンソーが大活躍。立木が疎らで棚作りは苦勞する。杭を 30cm 以上打ち込む、斜面での運搬は力仕事、等々の苦闘ぶりは写真の通り。**30m×70m=0.21ha** のエリアがスッキリ。

(補足：0.21ha は約 2 反歩に相当、念の為)

<写真編>

【思い々々の弁当タイム】



【活動地要図】



【曲ってもなお伸びていく不思議なヒノキ】



蔓は宙を伸びる

【棚を支える杭を打ち込む—深さ 30cm 超】



表土が厚いので杭打ちは深々と

【木を運んで土留めの棚を積む】



【整備後の例—棚積みした昼食場所の下方】



昼食風景の足元の様子と比べて見て↑

【里雪の 消えかかる果て 白き峰】



写真は井上会員

【馬は酔い 鹿ソップ向く 馬酔木花】



花芽が付き始め